

C I Aフォーラムは、C I A資格保持者の研鑽及び相互交流を目的に活動する、一般社団法人日本内部監査協会（I I A - J A P A N）の特別研究会である。各研究会は、担当の座長が責任をもって自主的に運営し、研究期間、目標成果を設定し、研究成果を発信している。

当研究報告書は、C I Aフォーラム研究会No. e24が、その活動成果としてとりまとめたものである。報告書に記載された意見やコメントは、研究会の「見解」であり協会の見解を代表するものではなく、協会がこれを保証・賛成・推奨等するものでもない。



CIA FORUM E24 IMPROVE INTERNALAUDIT
OUTPUTS

20XX年XX月XX日 監査部

20XX年度 監査年間計画書

ご説明資料



CIA FORUM E24
IMPROVE
INTERNALAUDIT
OUTPUTS



20XX年度監査計画概要

法令等必須監査

法令等遵守のため実施必須監査
本年度は以下を実施予定
ISO認定は認定前の事前確認

1. J-SOX/US-SOX：年次
2. ISOXXXXX認定：本年初
3. Pマーク更新：3年毎
4. 会社法改正：本年初

業務監査

4年に一度全社業務監査を実施
XX年度3/4年目21/28業務終了予定
XX業務はXX事故のため注視予定

1. XX業務：XX社
2. XX業務：XX部（事故有）
3. XX業務：XX部
4. XX業務：XX部・XX部
5. XX業務：XX部・XX社
6. XX業務：XX部
7. XX業務：XX部

テーマ監査

リスク事象を業務横断的に確認
社内リスクと要請事項を基に計画
外部委託先契約書更新精査を注視

1. 外部委託先契約書更新
2. 個人情報管理
3. XX施策推進状況

システム監査

5年に一度全システム確認実施
XX年度3/5年目15/25終了予定
またサイバー攻撃対策確認予定

1. XXシステム：XX部
2. XXシステム：XX社
3. XXシステム：XX部・XX部
4. XXシステム：XX部
5. XXシステム：XX部・XX社
6. サイバー攻撃対策
7. RPA管理状況

経営要請事項

- ・ XX業務：XX年度発生 of XX事故について、根本原因を再度確認し、再発防止に向けた監査確認を行うこと
- ・ ISO XXXXX認定：認定に向けて、残課題がないか、監査視点からの確認を行うこと

監査役要請事項

- ・ XX業務：XX社について、次年度よりXX業務を受注予定のため、体制に問題ないか確認を行うこと



前年度監査計画・実施状況概要

法令等必須監査

法令等遵守のため実施必須監査
本年度は以下を実施予定
経産省監査はXX業共通のもの

済.J-SOX/US-SOX：年次
済.経産省監査対応：本年初

業務監査

4年に一度全社業務監査を実施
XX年度2/4年目14/28業務終了予定

済.XX業務：XX社・XX部
済.XX業務：XX部・XX部
済.XX業務：XX部
済.XX業務：XX部・XX部
済.XX業務：XX部・XX社
済.XX業務：XX部
実施中.XX業務：XX部

テーマ監査

リスク事象を業務横断的に確認
社内リスクと要請事項を基に計画
中期経営計画推進状況を注視

済.中期経営計画推進状況
済.個人情報管理
実施中.XX施策推進状況

システム監査

5年に一度全システム確認実施
XX年度2/5年目10/25終了予定
またベンダー契約確認予定

済.XXシステム：XX部
済.XXシステム：XX社
済.XXシステム：XX部
済.XXシステム：XX部
済.XXシステム：XX部
実施中.ベンダー契約内容管理
実施中.XX年発生事故対策

経営要請事項

- ・ 中期経営計画：2年目に入った段階で各部報告内容と推進状況に差がないか、確認のこと
- ・ ベンダー契約内容：XX社において裁判事例となったXX契約条項が当社に影響を及ぼさないか監査視点でも確認のこと

監査役要請事項

- ・ 勤務状況：中期経営計画達成のため過大な勤務体制が行われていないか、勤務状況に問題ないか、確認を行うこと



20XX年度監査実施予定

6チーム（各4名）にて、以下予定にて実施。空白箇所では、次年度監査の準備を行う。

| 監査 | XX年度第1Q | XX年度第2Q | XX年度第3Q | XX年度第4Q |
|---------|---------------------------------|-----------------|----------------------------|----------------------------|
| 法令等必須監査 | 1.J-SOX /US-SOX 2.ISOXXXXX認定 | 1.J-SOX /US-SOX | 1.J-SOX/US-SOX 3.Pマーク更新 | 1.J-SOX /US-SOX 4.会社法改正 |
| 業務監査1 | 1.XX業務 | 3.XX業務 | 5.XX業務 | 7.XX業務 |
| 業務監査2 | 2.XX業務 | 4.XX業務 | 6.XX業務 | 次年度監査準備 |
| テーマ監査 | 1,外部委託先契約書更新 | 2.個人情報管理 | 3.XX施策推進状況 | |
| システム監査1 | 1.XXシステム | 3.XXシステム | 5.XXシステム | 7.RPA管理状況 |
| システム監査2 | 2.XXシステム | 4.XXシステム | 6.サイバー攻撃対策 | 次年度監査準備 |

監査計画の詳細



1. 法令等必須監査

前提

法令等必須監査では、当社が遵守すべき法令・業界ルール・認定基準などについて、実施が必須であると考えられる監査確認テーマについて確認を実施する。

定例実施テーマ

- ・ J-SOX/US-SOX（年次）：会社法準拠。財務・決算統制について、業務体制・使用システム・報告内容から確認。
- ・ Pマーク更新（3年毎）：プライバシーマーク認定準拠。個人情報取扱体制を監査部が独立確認要。（前回XXXX年実施）

現在対応中の課題

1. 会社法改正：XXXX年度改正内容について、XXXX年度より全社対応実施中であるが残課題を確認要
2. 経産省監査対応：XX社発生事故から業界全体に確認が行われているもの。同事象防止対策を確認。問題なし。



2. 業務監査

前提

- ・ 当社業務を全体 28 業務に整理し、全業務の統制内容を 4 年間で定例網羅確認を行うもの。
- ・ 内部監査協会 (IIA) 基準にて 4 年間での網羅確認が推奨され、外部監査においても前提となるため、同水準で対応中。
- ・ 業務監査では、管理体制面・業務事務処理面・システム面・インフラ面の 4 つの視点から、以下 10 種類のリスクを確認。
 ((1)不正、(2)人事・労務、(3)顧客情報・商品・業務執行、(4)災害対策、(5)事業継続・情報安全、
 (6)事務・経営情報管理・ベンダー、(7)法務当局、(8)業務戦略・財務、(9)業務・商品・システム変更、(10)企業統治)

28 業務の整理と監査実施状況

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|-----|
| XX年 | XX業務 | 済 |
| XX年 | XX業務 | 済 | XX業務 | 実施中 |
| XX年 | XX業務 | 未 |
| XX年 | XX業務 | 未 |

現在対応中の課題

- ・ 業務再整理検討：次年度XX業務受注後、現状の 28 業務の区分を再整理するべきか現在検討中



3. テーマ監査

前提

- ・当社を取り巻くリスクを監査部内で分析し、業務横断的に確認が必要と思われるテーマを決定・確認を行うもの。
- ・リスクについては、当社リスク前提となる10種類のリスクから収集・分析。
- ・その他経営等要望から随時テーマを設置し、監査を行う。

リスク整理と監査予定

| | | | |
|-----------------|----------------------|-------------------|------------------------|
| (1)不正 | XX事故対策 | (6)事務・経営情報管理・ベンダー | XX社外部委託先契約事故 |
| (2)人事・労務 | メンタルヘルスサポート状況 | (7)法務当局 | ISO XXXXX新規認定 会社法改定 |
| (3)顧客情報・商品・業務執行 | XX施策推進状況 | (8)業務戦略・財務 | 内部留保水準改定 |
| (4)災害対策 | 疾病対策水準の引上げ | (9)業務・商品・システム変更 | XX業務新規受注 |
| (5)事業継続・情報安全 | 個人情報漏洩対策 サイバー攻撃対策 | (10)企業統治 | 中期経営計画達成状況 |

現在対応中の課題

- ・整理されたリスクについては、全てXXXX年度監査にて確認予定



4. システム監査

前提

- ・ 当社システムを25システムに整理し、全システムの統制内容を5年間で定例網羅確認を行うもの。
- ・ 外部基準に明確な定めはないが、外部監査推奨により対応中。
- ・ その他経営等要望から随時テーマを設置し、監査を行う。

25システムの整理と監査実施状況

| | | | | | | | | | | |
|-----|--------|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|---|
| XX年 | XXシステム | 済 |
| XX年 | XXシステム | 済 |
| XX年 | XXシステム | 未 |
| XX年 | XXシステム | 未 |
| XX年 | XXシステム | 未 |

現在対応中の課題

- ・ ベンダー契約内容管理、XX年発生事故対策について、現在監査実施中。XX月報告予定。

監査確認予定項目（監査視点別・リスク別）



1. 業務監査にて確認予定の監査視点

確認視点については、通常以下4視点を前提とする。

管理体制面

業務の管理体制、組織の管理体制など、統制状況を確認する。
主なリスク：不正リスク、人事労務リスク、法務当局リスク、企業統治リスク

業務・事務 処理面

業務・事務の実施結果と実施内容、実施する際の阻害要因などについて確認する。
主なリスク：顧客情報・商品・業務執行リスク、業務戦略・財務リスク

システム面

業務に使用するシステム環境とその統制について確認する。
主なリスク：事業継続・情報安全リスク、業務・商品・システム変更リスク、

インフラ面

業務を行うために必要な各種インフラについて確認する。
主なリスク：災害対策リスク、事務・経営情報管理・ベンダーリスク



2. 当社リスク種類整理

リスク種類については、通常以下10種類を前提とする。確認項目は一例。

不正リスク

- (1)アクセス権限管理状況
- (2)第三者によるチェック機能

法務当局リスク

- (1)法令・遵守体制の整備状況

人事労務リスク

- (1)研修体制整備状況
- (2)労務管理状況

業務戦略・財務 リスク

- (1)他部署との役割分担・責任体制

顧客情報・商品・ 業務執行リスク

- (1)組織体制整備状況
- (2)未処理・積滞業務の有無

業務・商品・シス テム変更リスク

- (1)施策及び体制改定管理状況

災害対策リスク

- (1)BCP対策

企業統治リスク

- (1)所管事項及び職務権限

事業継続・情報安 全リスク

- (1)システム管理状況

事務・経営情報管 理・ベンダーリスク

- (1)コンティンジェンシープラン及びルール・マニュアル整備状況
- (2)案件の部内管理体制、及び社内連携体制

監查前提事項



前提事項 1. 当社監査の実施前提

IIA準拠

当社監査は、内部監査協会（IIA）のルールに準拠して行う

監査規定

当社監査は、「内部監査規定」に定められたルールを前提として行う

監査部

監査部は、全社から独立した組織として、リスク防衛第三ラインとしての役割を果たす



前提事項2. 当社監査人員と課題状況

当社監査人員

- ・ 当社監査人員は、24名（東京12名、大阪12名）6チーム（各4名）を構成。
- ・ 前年度から、2名増（東京2名、大阪0名）
- ・ 本年度退職予定は、3名（東京3名、大阪0名）

必要な監査人員

- ・ 28業務、25システムについて、定期監査を実施。（1年あたり7業務・5システム）
→3ヶ月あたり、最低12名（業務8名・システム4名）は必要
- ・ その他法令等監査やテーマ監査を実施。
→3ヶ月あたり最低8名は必要。
- ・ サポートや事故人員などを考えると常時25名が必要であるが、現状24名。
→今年度末は21名。

必要な監査業務を実施するためにも中途採用を含め、今年度4名の人員増をお願いしたい。

課題

- ・ 適切な監査を行うことを保証する監査資格保有者について、システム資格保有者が2名本年度退職予定（残2名）。既存メンバーに支援を行い取得を要請中。
- ・ 一部部署において、業務多忙を理由に監査拒否が常態化。決算時等問題となる可能性があるため、経営からも監査権への対応義務説明と是正呼びかけをお願いしたい。



CIA FORUM E24

IMPROVE INTERNALAUDIT
OUTPUTS

お問合せ先

・ 監査部部长：○○ ○○
(内線 XXXX)

・ 担当：監査部（東京）○○ ○○
(内線 XXXX)



CIA FORUM E24

IMPROVE
INTERNALAUDIT
OUTPUTS